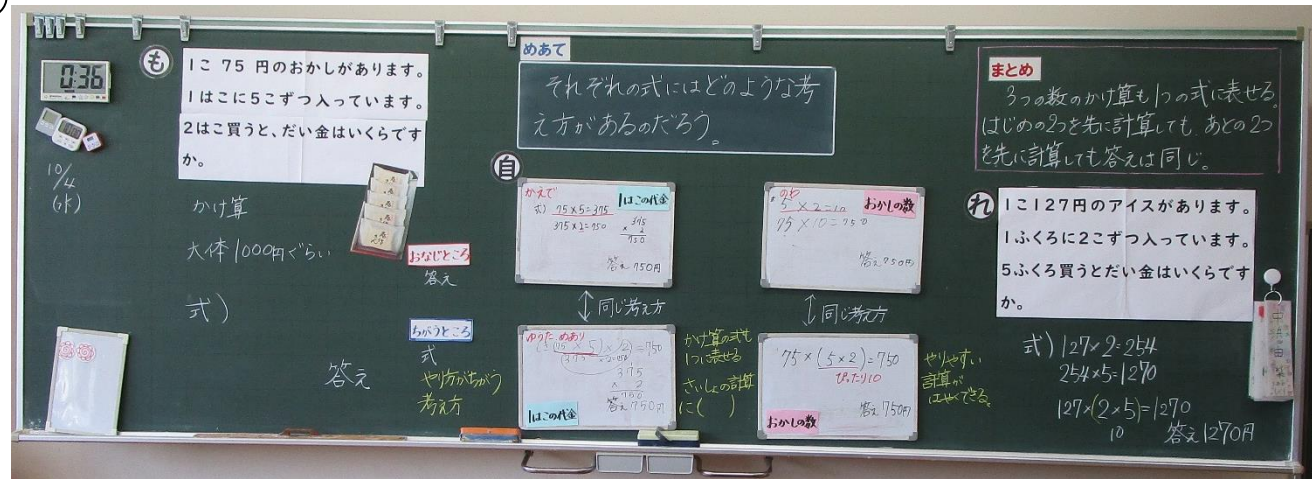


10月4日(水)は、宮地先生による算数科の研究授業でした。本単元は、2けた×1けた、3けた×1けたのかけられる数大きい乗法の仕方考える学習をしました。本時は、日常の買い物場面から問題をつくり、3つの数の関係を乗法の1つの式に表すことや、結合法則による計算の工夫について理解することを目標としていました。また、いろいろな式をもとに、どのような考え方をしたのか対話を通して考えることを目指していました。本時の授業と事後研究の様子をお知らせします。

単元名 「大きい数のかけ算のしかたを考えよう」(東京書籍) 全11時間
3年 宮地 美如 先生
本時の目標：3つの数の乗法が1つの式に表せることを知り、乗法の結合法則について理解することができる。
本時における見方・考え方：式を構成している数や計算の順序に着目して、計算の意味を考えている。



本時の板書 10/11



自分の考えを友達に伝えています。



どうやってお菓子の代金を求めたか全体で説明しています。

宮地先生による授業のリフレクション

今回の授業実践を通して、子どもに何を話させるのかという対話の部分が課題だと感じました。また、子どもに何を身に付けさせたいかを焦点化して、授業を行っていくことが改めて大切であると学びました。導入が単に、子どもの興味づけにならないように、子どもが考えたいと思う問いをつくるにはどうしたらよいかを考えていきたいです。

授業参観の視点(3点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

- 1 本単元で身に付けさせたい資質・能力を育成するための主体的・対話的な学習活動の設定**
 - ▼めあてと活動、まとめとのずれがあったのではない。何をこの時間で育成したいのか、資質・能力を焦点化する必要があった。
 - ▼自分の考えを説明する対話を設定していたが、子ども達が本当に分かっていたか。必要感のある対話につなげていきたい。
 - ▼自分の計算の仕方を説明するのか、黒板の3つの中の計算の説明をするのか明確でなかった。
- 2 児童が本気になる問題や課題の工夫**
 - 四十十市のお菓子の代金を求める買い物場面が身近な題材となっており、ICTを活用して視覚的に場面を捉えさせていてよかった。
 - ▼代金が750円であること、本当にこれでいいのか考えさせて確認することも必要ではないか。
- 3 「数学的な見方・考え方」を働かせるための手立てや働きかけ**
 - 共通点や相違点の視点をもたせ、考えさせているところがよかった。
 - 2年生の3つの数の計算の仕方について発言する児童を取り上げ、既習内容の確認につなげていた。
 - ▼児童の説明から式の意味を言葉とつなげて提示していたが、ICTを活用して提示した実物を使ったり、手元に図や写真をおいてそれを使ったりしながら自分の考えを説明させる必要があったのではないか。
 - ▼児童の中には、分かっていない子がいたため、その子への手立てが必要であり、困っている子を取り上げながら学習を進めていきたい。
 - ▼ $75 \times (5 \times 2)$ の式は、教師が提示するのではなく、子どもから引き出せるとよかった。
 - ▼適用問題で、1つの式ではなく2つの式で求めている児童もおり、1つの式に表し、結合法則を使って計算するよさに気づかせたい。()をつけて計算した子どもに聞いてもよかった。

宮地先生が普段から学級経営、学習指導をしっかりされていることが伝わる研究授業でした。式の表す意味を確実に捉えさせようとする意図が感じられ、その上に図や写真を活用して説明することを大事にしていくことを研究協議を通して確認することができました。研究授業の学びを日常の授業につなげていきましょう！

藤原指導主事より(本単元・本時の学びのポイント)

- 授業について
 - *導入が興味付けのみになっていないか、何のために生活場面を持ってきたのか目的を明確にする。
 - *対話には「教えてほしい」「知りたい」など目的や必要感をもたせ、充実させるためには困り感が必要。
 - *式の役割を押さえておく必要がある。式と具体的な場面と対応させながら、事柄や関係を式に表すこと、式を言葉、図、表、グラフなどと関連付け、それを用いて自分の考えを説明できることが大切。(式にするよさを系統的に指導していくこと)
 - *乗法九九を使うと解決できるなど既習を活用するとできるよさを実感させるとともに、次にどこの学習につながっていくのか伝えることもよいのではないかと **納得解につながる授業へ！！**
- 資質・能力の3つの柱を一体に育成するためのポイント(講話より)

- ◆教材から活動の必然や目的をもたせる場面設定
- ◆子どもとのやり取りから問いをもたせること
- ◆既習を引き出すこと
- ◆いつでも使える一般的な表現(一般化)でまとめること
- ◆活用する新たな場面を設定すること

子どもから引き出すことを大事にしたい!
※授業改善プランの取組との関連を意識